

工 事 番 号							
設計年度	令和 8 年度	三原城跡天主台濠階段設置工事 仕様書 街路事業 三原市本町一丁目 補助 仕様書					
施工年度							
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
天主台濠階段設置工 階段工 N=2箇所 ブロック積工 A=18m2 柵工 L=32m							

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原城跡天主台濠階段設置工事に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和8年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和8年4月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・ その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、原則として、請負代金額が1,000 万円以上1 億円未満の工事は、中間検査を1 回実施し、1 億円以上の工事は2 回実施する。

第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第4節 週休2日適用工事

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第5節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事であり、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第8節 熱中症対策に資する現場管理費の補正に従うこと。

第6節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量

- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（１）～（５）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第２章 施工条件

第１節 工程

- 1 JR協議
- (1) 内容 工事着手前にJRとの施工協議が必要となるため、安全計画等の協議を行うこと。
時期 工事着手前
- 2 施工時期・時間の制限
- (1) 施工内容 工事全般
時期 全工事期間
時間 ８：３０～１７：００（作業可能時間）
施工方法・理由 搬入路及び現場出入口付近が通学路であるため、登下校時間は工事用車両の通行を行わないこと。

第２節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。
- 2 JR土地の借地
- 内容 JRの土地の借地が必要となるため、借地申請に係る協議は工事着手までに三原市が行う。
時期 工事着手前

第3節 公害対策

1 公害防止

施工方法	コンクリート破砕において、低騒音型機械を使用するものとする。
建設機械・設備	低騒音型機械

2 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督職員と協議の上調査すること。 (設計変更の対象とする。)
調査時期	施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	工事箇所から10m範囲

3 粉じん対策

管理内容	粉じん防止の散水
範囲	事業用地内工事用通路及び出入口付近

第4節 安全対策

1 交通安全施設

内容	利用者及び一般車両通行を優先し、安全確保には十分注意すること。
期間	全工事期間中

2 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

作業期間のうち交通規制時等、交通誘導警備員を3(人/日)配置することを見込んでいる。

第5節 建設副産物

1 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(指定処分(A)))

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

搬出場所	山田建設(株)リサイクルプラント
------	------------------

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第6節 その他

- 1 工事用機資材の仮置き場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 関係機関・自治体との近接協議
工事内容、工程、安全管理等について、JRと協議の上、工事着手すること。
また、内容に変更が生じた際にも、都度協議を行うこと。
- 3 変位計測について
内容 JRとの協議において、変位計測が必要となるため、参考資料の⑤変位計測計画にもとづき変位計測を行うこと。
使用機械 三次計測システム MONMOS NET05AXⅡ相当品
精度管理 変位計測計画にもとづき、管理を行うこと。
時期 工事着手2週間前～工事完了後1週間

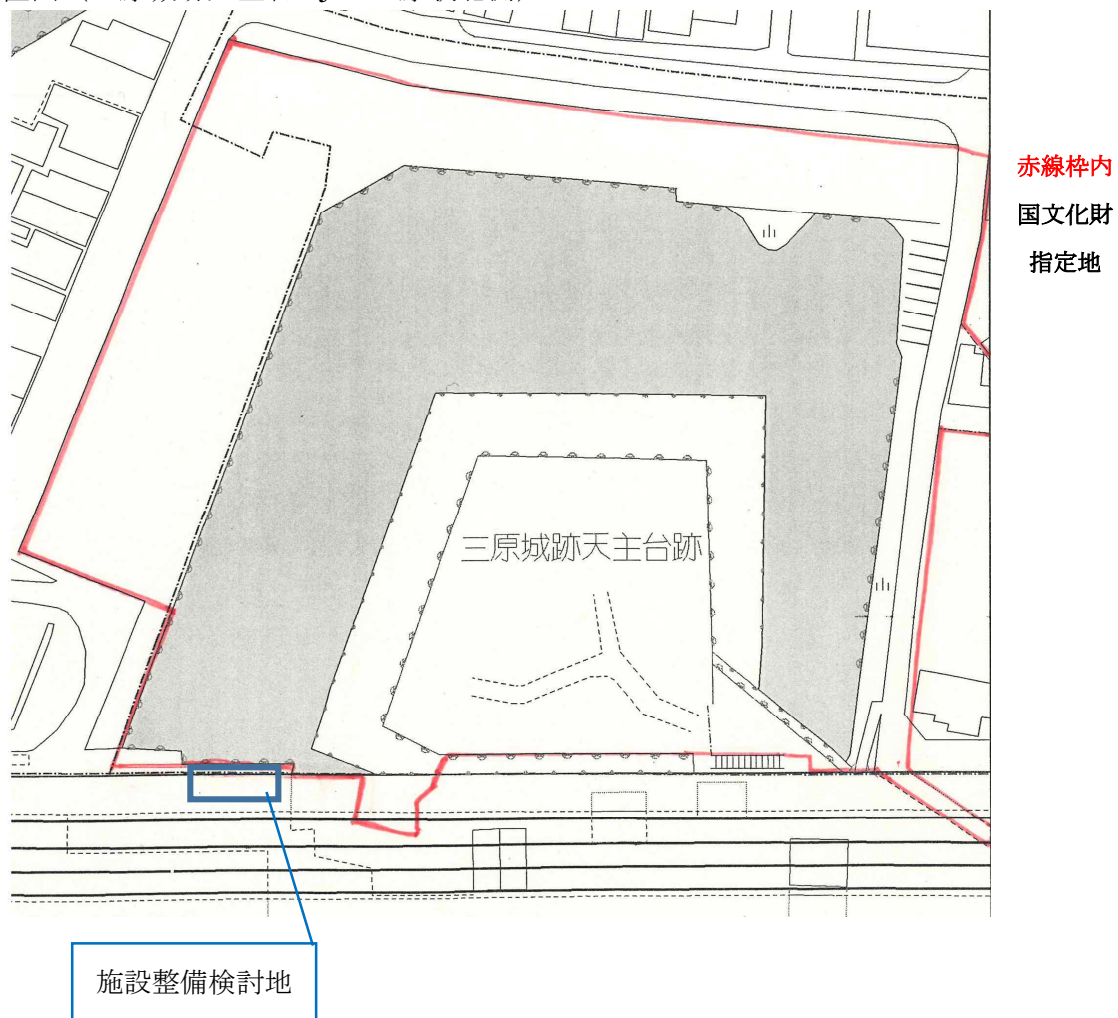
第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

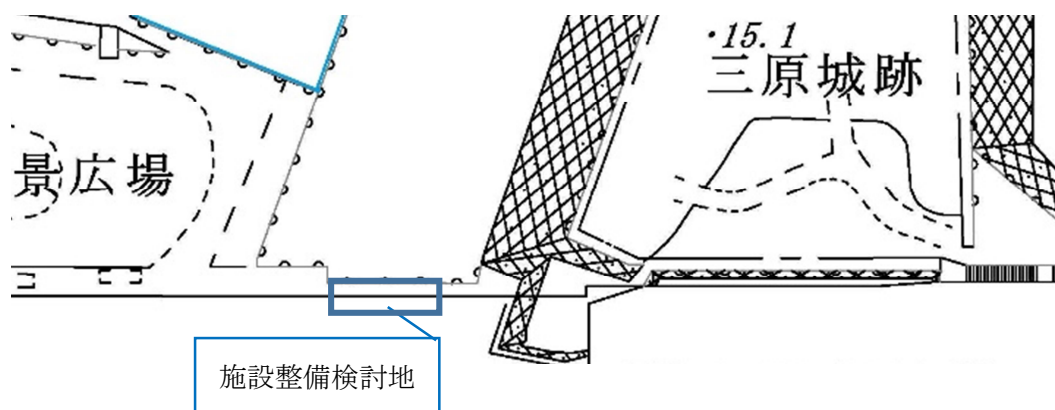
三原城跡天主台濠階段設置工事仕様書

- 1 業務委託箇所 三原市館町一丁目
- 2 業務区域 図面参照のこと
- 3 業務期間 契約日の翌日～令和9年3月4日まで
- 4 業務内容 別紙のとおり
- 5 その他
 - (1) 受注者は契約後直ちに業務計画書・材料承認願い・年間業務工程表を作成し、監督員に提出して承認を受けること。
 - (2) 作業に関して、周辺住民や通行人へ支障のないよう作業を行い、通行止め等の交通規制が必要とする場合は、関係機関と協議を行うこと。
 - (3) 作業に際し、私有地に立ち入る場合は、あらかじめ土地所有者等の了解を得ること。その場合交渉記録（日時、相手先等）を履行報告書に記載して発注者に提出すること。
 - (4) その他監督員の指示に従うこと。
 - (5) 月末毎に作業日報・履行報告書等を提出すること。

位置図（三原城跡天主台 JR三原駅北側）



(拡大図)



2 北側から見た階段設置予定地の現状

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
基盤整備		式		1	レベル1
擁壁工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り(掘削)	土砂	m3		40	レベル4
埋戻し	土砂	m3		0.4	レベル4
土砂等運搬	土砂	m3		40	レベル4
残土等処分		m3		40	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式		1	レベル3
コンクリートブロック基礎	18N	m		13	レベル4
コンクリートブロック積	粗面ブロック	m2		12	レベル4
天端コンクリート	18N	m		16	レベル4
防護柵基礎		m		16	レベル4
石積工		式		1	レベル3
切石積	流用石積	m2		6	レベル4
施設整備		式		1	レベル1
園路広場整備工		式		1	レベル2
階段工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
コンクリート階段	18N	箇所		2	レベル4
コンクリート系舗装工		式		1	レベル3
インターロッキング舗装	RC-30 再利用	m2		9	レベル4
コンクリート舗装		m2		7	レベル4
埋設物保護工		式		1	レベル4
園路縁石工		式		1	レベル3
コンクリート縁石	C種 (150×150×600)	m		5	レベル4
管理施設整備工		式		1	レベル2
柵工		式		1	レベル3
柵	ガードフェンス H=1.1m	m		32	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
ブロック舗装撤去工		式		1	レベル3
インターロッキングブロック撤去		m2		24	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co	m3		1	レベル4
殻処分	Co	m3		1	レベル4
全工種共通		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		60	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
計測B		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

工事数量総括表

頁0 -0004

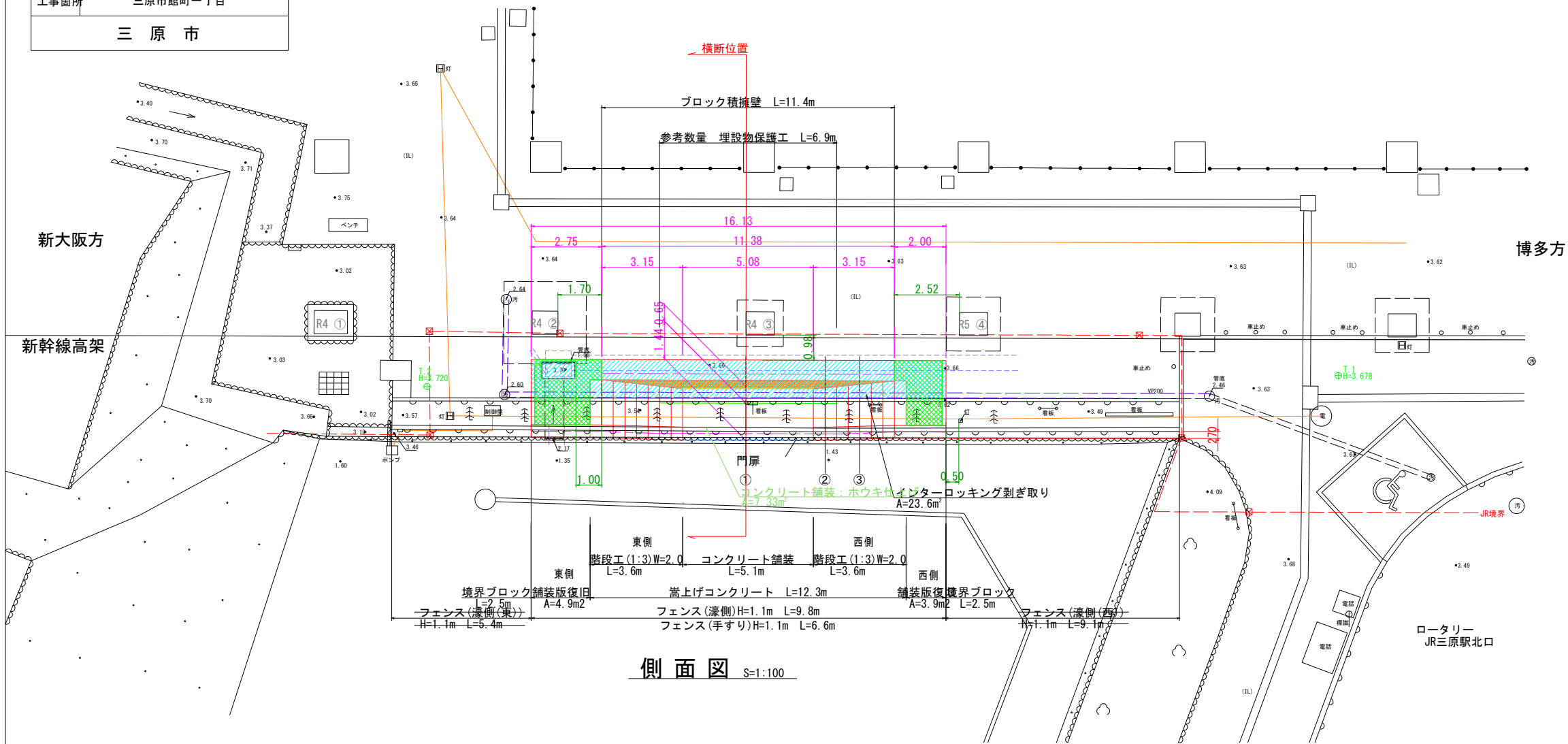
[illegible]

図面番号	1 / 1	縮 尺	図 示
工事名	三原城跡天主台濠階段設置工事		
種 別	設 計 図	番 号	1 / 3
路 線 名 河 川 名	三原城跡天主台濠階段		
工事箇所	三原市館町一丁目		
三 原 市			

平面図

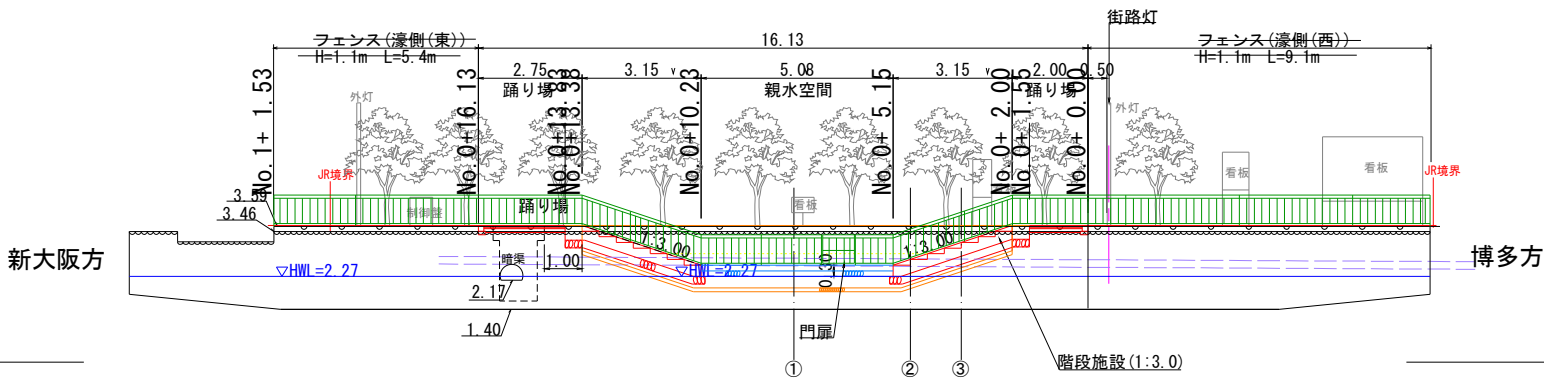
S=1:100

基準点座標			
点名	X座標	Y座標	H標高
T.1	-177006.350	84130.118	3.678
T.2	-177005.929	84165.541	3.720
502	-176976.417	84141.563	4.044



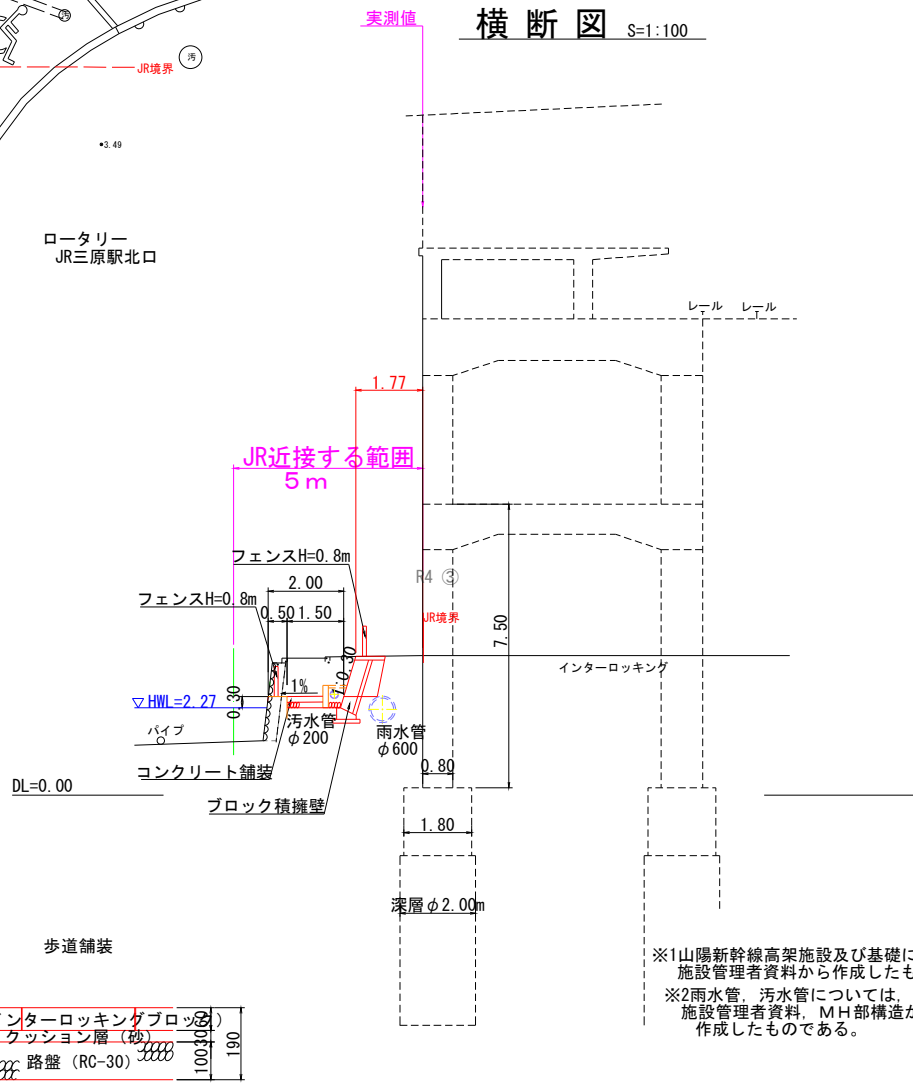
側面図

S=1:100

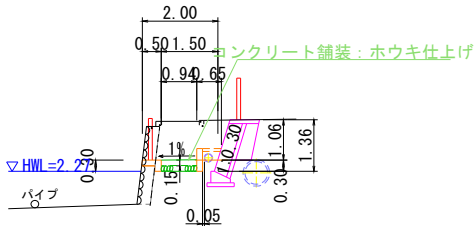


横断図

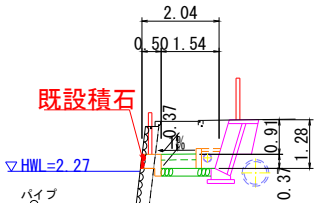
S=1:100



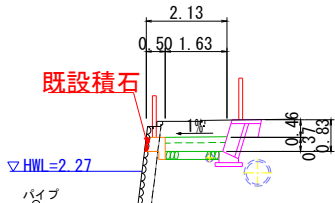
参考断面①



参考断面②



参考断面③



歩道舗装

表層	インターロッキングブロック	厚さ	120
	クッション層	砂	100
	路盤	RC-30	100

※1山陽新幹線高架施設及び基礎については、施設管理者資料から作成したものである。
※2雨水管、污水管については、施設管理者資料、MH部構造から作成したものである。

参 考 資 料

— 三原城跡天主台濠階段設置工事 —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-08. 08. 01 (0)	《 凡例 》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	09 公園工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証 (0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
基盤整備	1	式			Y1H01 レベル1
擁壁工	1	式			Y1H0106 レベル2
作業土工	1	式			Y1H010601 レベル3
床掘り(掘削) 土砂	40	m3			Y1H01060101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	40	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001 表
埋戻し 土砂	0.4	m3			Y1H01060103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	0.4	m3			SPK26040019 00 単第0 -0002 表
土砂等運搬 土砂	40	m3			Y1H01060112 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	40	m3			SPK26040002 00 単第0 -0003 表
残土等処分	40	m3			Y1H01011103レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料	40	m3			T9003 00
Coブロック工(Coブロック積)	1	式			Y1H010607 レベル3
コンクリートブロック基礎 18N	13	m			Y1H01060701レベル4
基礎工	13	m			V000000500 00 単第0 -0004 表
コンクリートブロック積 粗面ブロック	12	m2			Y1H01060702レベル4
コンクリートブロック積工(練積) 粗面ブロック 18-8-40BB	12	m2			SDT00039 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	2	m3			SPK26040045 00 単第0 -0009 表
天端コンクリート 18N	16	m			Y1H01060709レベル4
現場打天端コンクリート 18-8-25(20)BB 一般養生	1	m3			SPK26040052 00 単第0 -0010 表
防護柵基礎	16	m			Y4999 レベル4
防護柵基礎	16	m			V000000100 00
石積工	1	式			単第0 -0011 表 Y1H010612 レベル3
切石積 流用石積	6	m2			Y1H01061206レベル4
石積(練石)(複合) 雑割石 直高1.0m以上1.5m以下 18-8-40BB RC-40	6	m2			SPK26040061 00 単第0 -0014 表
施設整備	1	式			Y1H03 レベル1

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
園路広場整備工	1	式			Y1H0305 レベル2
階段工	1	式			Y1H030516 レベル3
コンクリート階段 18N	2	箇所			Y1H03051601レベル4
階段工	2	箇所			V000000400 00
かさ上げコンクリート	12	m			単第0 -0015 表 V000000200 00
コンクリート系舗装工	1	式			単第0 -0016 表 Y1H030507 レベル3
インターロッキング舗装 RC-30 再利用	9	m2			Y1H03050701レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	9	m2			SPK26040233 00
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 標準品 [規]100m2未満	9	m2			単第0 -0017 表 SS000115 00
	9	m2			単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート舗装	7	m2			Y4999 レベル4
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ100mm 18-8-20BB	7	m2			S1040011 00 単第0 -0019 表
埋設物保護工	1	式			Y4999 レベル4
埋設物保護工	5	m			V000000300 00 単第0 -0021 表
園路縁石工	1	式			Y1H030514 レベル3
コンクリート縁石 C種(150×150×600)	5	m			Y1H03051401 レベル4
地先境界ブロック撤去 再利用	5	m			SPK26040290 00 単第0 -0022 表
地先境界ブロック C種(150×150×600) 再利用設置 RC-40	5	m			SPK26040288 00 単第0 -0023 表
管理施設整備工	1	式			Y1H0309 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
柵工					Y1H030906 レベル3
柵	1	式			
ガードフェンス H=1.1m					Y1H03090602 レベル4
	32	m			
ガードフェンス 水平 GF-TK-11					F000000700 00
	25	m			
ガードフェンス 勾配 手すり 2段					F000000800 00
	7	m			
ガードフェンス 施工費					F000000900 00
	32	m			
片開き門扉					F000001000 00
	1	組			
片開き門扉 施工費					F000001100 00
	1	組			
構造物撤去工					Y1H0312 レベル2
	1	式			
ブロック舗装撤去工					Y1H031211 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック撤去	24	m2			Y1H03121101レベル4
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m2未満	9	m2			SS000117 00 単第0 -0024 表
インターロッキングブロック工(撤去取壊し) とりこわし [規]100m2未満	15	m2			SS000119 00 単第0 -0025 表
運搬処理工	1	式			Y1H031215 レベル3
殻運搬 Co	1	m3			Y1H03121501レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	1	m3			SPK26040155 00 単第0 -0026 表
殻処分 Co	1	m3			Y1H03121502レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	2	t			T9005 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
全工種共通	1	式			Y1H07 レベル1
仮設工	1	式			Y1H0701 レベル2
交通管理工	1	式			Y1H070121 レベル3
交通誘導警備員	60	人			Y1H07012101 レベル4
交通誘導警備員B	60	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計測B					YZZ06001004レベル4
	1	式			
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
三次元計測システム MANMOS NET05AX2 基本料・賃料・補償料・三脚・機器取り寄せ					F000001200 00
	1	式			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

頁0 -0012

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.65%

標準
労務構成比: 61.34%

SPK26040001
材料構成比: 11.01%

単第0 -0001 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
1,342.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0013

埋戻し
土砂
機械構成比：9.23%
労務構成比：86.75%
材料構成比：4.02%
市場単価構成比：0.00%

SPK26040019
上記以外(小規模)

単第0 -0002 表
1
標準単価：4,309.40000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンパ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0014

埋戻し				SPK26040019		単第0 -0002 表	
土砂		上記以外(小規模)				1	m3 当り
機械構成比:	9.23%	労務構成比:	86.75%	材料構成比:	4.02%	市場単価構成比:	0.00%
						標準単価:	4,309.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

土砂等運搬

SPK26040002

単第0 -0003 表

1

m3

当り

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

機械構成比: 25.12%

労務構成比: 63.12%

材料構成比: 11.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,610.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=14 距離3.0km以下(2.0km超)			B=5 バックハウ B容量0.28m3 D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0016

基礎工

V000000500

单第0 -0004 表

10
m
当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK26040157

単第0 -0005 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り

機械構成比: 3.26%

労務構成比:

37.29%

材料構成比:

59.45%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.08%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	57.72%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.64%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK26040157

單第0 -0005 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り

機械構成比: 3.26% 勞務構成比: 37.29% 材料構成比: 59.45% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 39,328.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

型枠
一般型枠
機械構成比：0.00%

SPK26040159
小型構造物
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0006 表

1
標準単価：

m2 当り
9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0020

基礎砕石

SPK26040033

単第0 -0007 表

1

m2

当り

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

機械構成比：5.11%

労務構成比：79.15%

材料構成比：15.74%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1,318.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜賃＞バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014	5.08%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	38.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.10%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	10.65%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	5.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0021

基礎碎石

SPK26040033

單第0 -0007 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.11% 労務構成比: 79.15%

材料構成比: 15.74%

市場単価構成比:	0.00%
----------	-------

1	m2	当り
標準単価：	1,318.20000	

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

コンクリートブロック積工(練積)
粗面ブロック

SDT00039
18-8-40BB

単第0 -0008 表

1
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-粗面-<JISA5371> 280×420×350, 参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	0.112	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=1 - H=0.1 裏込	コンクリートの厚さ(m)	
I=2 粗面ブロック L=1 時間的制約なし			K=8.5 ブロック	m2当り使用量(個/m2)	

施工単価表

頁0 -0023

洞込・裏込材(砕石)

間知・平・連節・緑化ブロック

機械構成比: 8.99%

SPK26040045

RC-40

労務構成比: 68.98%

材料構成比: 22.03%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価:

m3 当り

7,441.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1〜3, 2011, 2014	8.99%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	36.04%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	20.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40〜0mm	17.76%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	4.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0024

胴込・裏込材(碎石)

SPK26040045

單第0 -0009 表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 8.99%

勞務構成比：

68.98%

材料構成比：

22.03%

市場単価構成比:

標準単価：

7,441.20000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

現場打天端コンクリート

18-8-25(20)BB

機械構成比：2.31%

SPK26040052

一般養生

労務構成比：64.12%

材料構成比：33.57%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0010 表

1

標準単価：69,240.00000

m3

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1〜3, 2011, 2014	2.31%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	22.02%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)	32.06%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	1.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0026

現場打天端コンクリート

SPK26040052

單第0 -0010 表

18-8-25 (20) BB

一般養生

機械構成比: 2.31%

勞務構成比：

64. 12%

材料構成比: 33.57%

市場単価構成比:	0.00%
----------	-------

標準単価：
1

m3 当り

69,240.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

防護柵基礎

V000000100

單第0 -0011 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

コンクリート

SPK26040157

単第0 -0012 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り

機械構成比: 3.26%

労務構成比:

37.29%

材料構成比:

59.45%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.08%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)	57.72%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.64%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0029

コンクリート

SPK26040157

單第0 -0012 表

1

m3 当り

小型構造物 18-8-25 (20) BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

機械構成比: 3.26% 勞務構成比: 37.29% 材料構成比: 59.45% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 39,328.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

化粧型枠

SPK26040160

単第0 -0013 表

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り 3,835.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0031

石積(練石)(複合)
雑割石 直高1.0m以上1.5m以下
機械構成比: 4.25% 労務構成比: 66.12% 材料構成比: 29.63% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040061
18-8-40BB RC-40

単第0 -0014 表
1 m2 当り
標準単価: 27,091.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.25%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.28m3 吊能力1.7t		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	34.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	16.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	8.47%		石工		RTPC00017 RTPT00017
特殊作業員	3.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	26.12%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.19%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシャーラン 40~0mm	1.32%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

頁0 -0032

石積(練石)(複合)

SPK26040061

單第0 -0014 表

雜割石 直高1.0m以上1.5m以下

18-8-40BB RC-40

1 m2 当り

機械構成比:	4.25%	勞務構成比:	66.12%	材料構成比:	29.63%	市場単価構成比:	0.00%
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------

標準単価： 27,091.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

階段工

V000000400

單第0 -0015 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

かさ上げコンクリート

V000000200

單第0 -0016 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

下層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 4.82%

RC-30

労務構成比: 76.32%

SPK26040233

材料構成比: 18.86%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0017 表

1

標準単価:

m2

当り

889.38000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3	2.88%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3〜4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	1.71%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3〜4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.48%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30〜0mm	16.70%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352

施工単価表

頁0 -0036

下層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比：4.82%

SPK26040233

RC-30

労務構成比：76.32%

材料構成比：18.86%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0017 表

1

標準単価：

m2

889.38000

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	2.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工单価表

頁0 -0037

インターロッキングブロック工(設置)

SS000115

單第0 -0018 表

直線配置

ブロック厚6cm 標準品 [規]100m2未満

m2

当り

[illegible]

施工単価表

コンクリート打設工		S1040011		単第0 -0019 表	
防草コンクリート Co厚さ100mm		18-8-20BB		100	100
名称・規格など		数量	単位	単価	金額
土木一般世話役		0.600	人		
特殊作業員		1.100	人		
普通作業員		1.900	人		
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)		12.100	m3		
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付1.7t吊_B容量0.28m3		0.890	日		単第0-0020 表
諸雑費		4.0	%		#09
*** 合計 ***		100	m2		
*** 単位当たり ***		1	m2		
A=2 C=1 F=100	施工幅 1.0m超2.0m以下 - コンクリート厚さ(mm)			B=2 D=1 G=1	施工高さ -1.0m以上1.0m以下 18-8-20BB -

施工単価表

頁0 -0039

機-28_バックホウ(クローラ型)運転

S9035

單第0 -0020 表

1 目 当り

クレーン付1.7t吊_B容量0.28m3

[illegible]

施工単価表

埋設物保護工

V000000300

単第0 -0021 表

頁0 -0040

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.78	m3			単第0-0012 表
型枠 一般型枠 小型構造物	10.4	m2			単第0-0006 表
化粧型枠	5.2	m2			単第0-0013 表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.348	m3			単第0-0012 表
再生砂	1.883	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	1.883	m3			単第0-0002 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0041

地先境界ブロック撤去
再利用

SPK26040290

単第0 -0022 表

1
m 当り

機械構成比： 3.76% 労務構成比： 94.75% 材料構成比： 1.49% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,546.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.76%		小型バックホウ(クローラ型) 超小旋回型 バケット容量0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	17.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.82%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					

施工単価表

頁0 -0042

地先境界ブロック撤去

SPK26040290

單第0 -0022 表

再利⽤

1 m 当り

機械構成比:	3.76%	勞務構成比:	94.75%	材料構成比:	1.49%	市場単価構成比:	0.00%
--------	-------	--------	--------	--------	-------	----------	-------

標準単価： 1,546.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

地先境界ブロック
C種(150×150×600)
機械構成比：0.61%

SPK26040288
再利用設置 RC-40
労務構成比：97.49%

材料構成比：1.90%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0023 表

1
標準単価：3,781.80000

m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3, 2011, 2014	0.61%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	43.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	23.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.82%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40〜0mm	1.29%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	0.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0044

地先境界ブロック

SPK26040288

單第0 -0023 表

C種(150×150×600)

再利⽤設置 RC-40

1 m 当り

機械構成比: 0.61%

勞務構成比: 97.49%

材料構成比: 1.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 3,781.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

インターロッキングブロック工(撤去再使用) SS000117

單第0 -0024 表

再使用目的の撤去 [規]100m2未満

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

インターロッキングブロック工(撤去取壊し)

SS000119

單第0 -0025 表

1

m2 当り

とりこわし

[規] 100m²未満

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

殻運搬

SPK26040155

単第0 -0026 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3

当り

機械構成比: 39.03%

労務構成比: 46.18%

材料構成比: 14.79%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,145.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

工 事 費 内 訳 表

三原城跡天主台濠階段設置

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数量	摘 要
本工事費								
	作業土工							
		掘削		砂質土	m3	40	42.2	
		床掘		砂質土	m3	1	1.4	
		埋戻		土砂	m3	0.4	0.4	
		残土処分		土砂	m3	40	43.2	
		基面整正			m2	2	2.0	土工
		//			m2	30	29.8	擁壁作業土工
	コンクリート ブロック積工							
		コンクリート ブロック積	控え 35cm	裏コン10cm	m2	12	11.9	
		裏込材		RC-40	m3	2	1.5	
		現場打基礎	基礎工	H=300	m	13	12.5	
					m3	1	1.4	12.5*1.140/10
		天端コンクリート			m	16	16.3	

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数量	摘 要
					m3	1	1.2	16.3*0.075
		防護柵基礎			m	16	16.3	
		積石(流用)			m2	6	5.7	
	階段工							
		コンクリート階段			箇所	2	2.0	
		嵩上げコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m	12	12.3	
	舗装工							
		インターロッキング	表層	t= 6cm	m	9	8.8	
			クッション層(砂)	t=3cm	m	9	8.8	
			路盤(RC-30)	t=10cm	m	9	8.8	
		地先境界ブロック		150×150	m	5	5.0	
		コンクリート舗装			m2	7	7.3	
	埋設物保護工				m	5	5.1	
	防護柵工							

[illegible]

三原城跡天主台濠階段設置

土 量 配 分 表

掘 削 土		
掘 削	砂質土	42.2 m3
床 掘	砂質土	1.4 m3
計		43.6 m3

土量変化率 0.9

盛 土		
路床		0.0 m3
路体		0.0 m3
合計		0.0 m3

$0.0 \div 0.9 = 0.0 \text{ m3}$

残土処分		
計	砂質土	43.2 m3

土量変化率 0.9

埋 戻 土		
埋 戻		0.4 m3
		m3
合計		0.4 m3

$43.6 - 0.4 = 43.2 \text{ m3}$

$0.4 \div 0.9 = 0.4 \text{ m3}$

三原城跡天主台濠階段設置

擁壁工作業土工

計 算 書

(2 / 9)

測 点	距 離	掘削 C(GF)			床掘 E(GF)			埋戻 Fu(D)			基面整正 K			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
No.0+ 0.00		0.7						0.0			0.2	0.20	0.3	
No.0+ 1.55	1.6	1.1	0.90	1.4	0.0			0.0			1.9			
No.0+ 2.00	0.5	1.4	1.25	0.6	0.1	0.05	0.0	0.1	0.05	0.0	2.4	2.15	1.1	
No.0+ 5.15	3.2	3.9	2.65	8.5	0.1	0.10	0.3	0.0	0.05	0.2	2.2	2.30	7.4	
No.0+10.23	5.1	3.9	3.90	19.9	0.1	0.10	0.5	0.0	0.00	0.0	2.2	2.20	11.2	
No.0+13.38	3.2	1.4	2.65	8.5	0.3	0.20	0.6	0.1	0.05	0.2	2.4	2.30	7.4	
No.0+13.83	0.5	1.1	1.25	0.6				0.0	0.05	0.0	1.9			
No.0+16.13	2.3	0.7	0.90								0.2	1.05	2.4	
合 計				m3 39.5			m3 1.4			m3 0.4			m2 29.8	

三原城跡天主台濠階段設置

ブロック積擁壁

計 算 書

(3 / 9)

測 点	距 離	SL			裏込碎石 GV			基礎工			水抜きパイプφ150			
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
No.0+ 0.00														
No.0+ 2.00	0.5	0.50								0.5				
No.0+ 5.15	3.2	1.24	0.87	2.8	0.3					3.2				
No.0+10.23	5.1	1.24	1.24	6.3	0.3	0.30	1.5			5.1	0.5×2		1	
No.0+13.38	3.2	0.50	0.87	2.8						3.2				
No.0+16.13	0.5									0.5				
小 計	12.5 ^m			11.9 ^{m2}			1.5 ^{m3}			12.5 ^m			1.0 ^m	

三原城跡天主台濠階段設置

階段工

計 算 書

(4 / 9)

測 点	距 離	コンクリート工			型枠工			基礎碎石(RC-40)			嵩上げコンクリート			
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
西側		1.96		2.0			2.30			6.81				
東側		1.96		2.0			2.30			6.81				
No.0+ 1.55														
No.0+13.83	12.3												12.30	
小 計	^m 12.3			^{m3} 4.0			^{m2} 4.6			^{m2} 13.6			^m 12.3	

三原城跡天主台濠階段設置

舗装工

計 算 書

(5 / 9)

測 点	距 離	インターロッキング 表層工t=6cm			クッション層(砂)t=3cm			路盤(RC-30)t=10cm						
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
西側		3.90		3.9	3.90		3.9	3.90		3.9				
東側		4.90		4.9	4.90		4.9	4.90		4.9				
合 計				m2 8.8			m2 8.8			m2 8.8				

三原城跡天主台濠階段設置														舗装工			計 算 書			(6 / 9)		
測 点	距 離	地先境界ブロック									コンクリート舗装 ホウキ仕上げ											
		断 面	平 均	数 量							断 面	平 均	数 量									
西側		2.5	2.50	2.50																		
東側		2.5	2.50	2.50																		
No.0+ 5.15																						
No.0+10.23	5.1												7.3									
合 計				m 5.0			m2 0.0			m2 0.0			m2 7.3									

三原城跡天主台濠階段設置埋設物保護工計 算 書														
(6 / 9)														
測 点	距 離	埋設物保護工												
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
No.0+ 5.15														
No.0+10.23	5.1			5.10										
合 計				m 5.1			m2 0.0			m2 0.0			m2 0.0	

殻処分集計表

インターロッキング	面積	厚さ	延長		立積	単位質量	重量	備考
	m ²	cm	m		m ³	t/m ³	t	
インターロッキング	14.8	6			0.9	2.20	2.0	
合計	14.8				0.9		2.0	

三原城跡天主台濠階段設置

防護柵工

計 算 書

(7 / 9)

測 点	距 離	フェンス(駅側)(H=0.8m)			フェンス(濠側)(H=0.8m)			フェンス(手すり付き)(H=0.8m)			両開き式扉			
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
No.0+ 0.00														
No.0+ 2.00	2.0			2.0			2.0							
No.0+ 5.15	3.2			0.0						3.30			1	
No.0+10.23	5.1			5.1			5.1							
No.0+13.38	3.2			0.0						3.30				
No.0+16.13	2.8			2.8			2.8							
No.1+ 1.53	5.4						5.4							
合 計				m 9.9			m 15.3			m 6.6			箇所 1	

三原城跡天主台濠階段設置

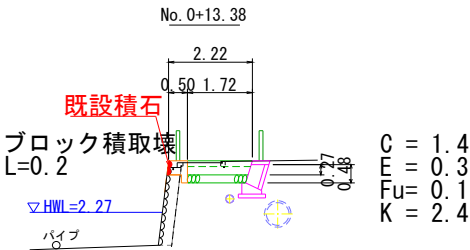
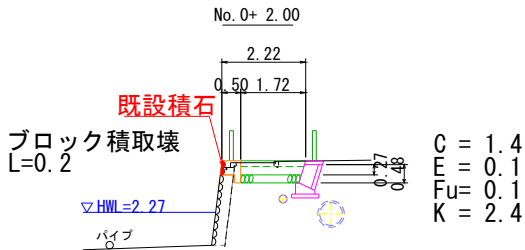
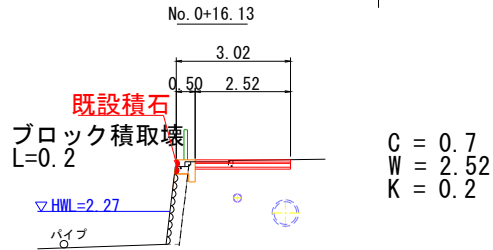
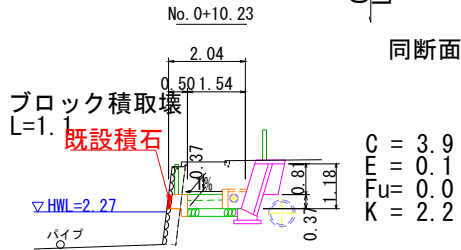
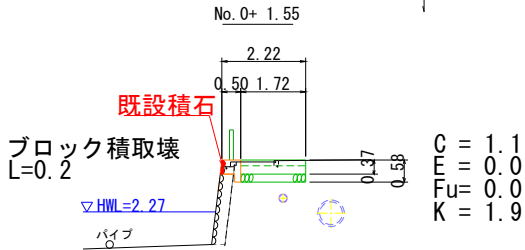
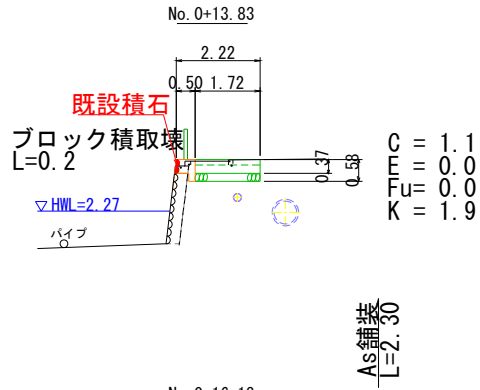
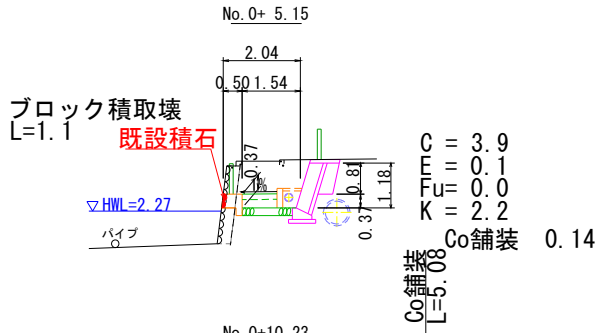
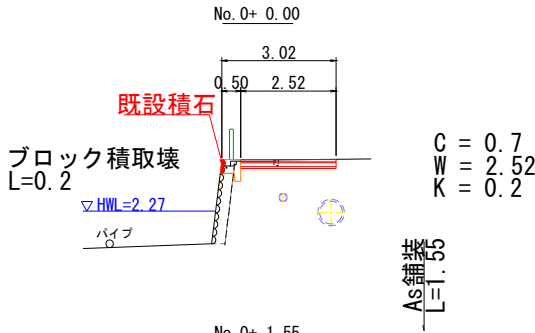
構造物撤去工

計 算 書

(8 / 9)

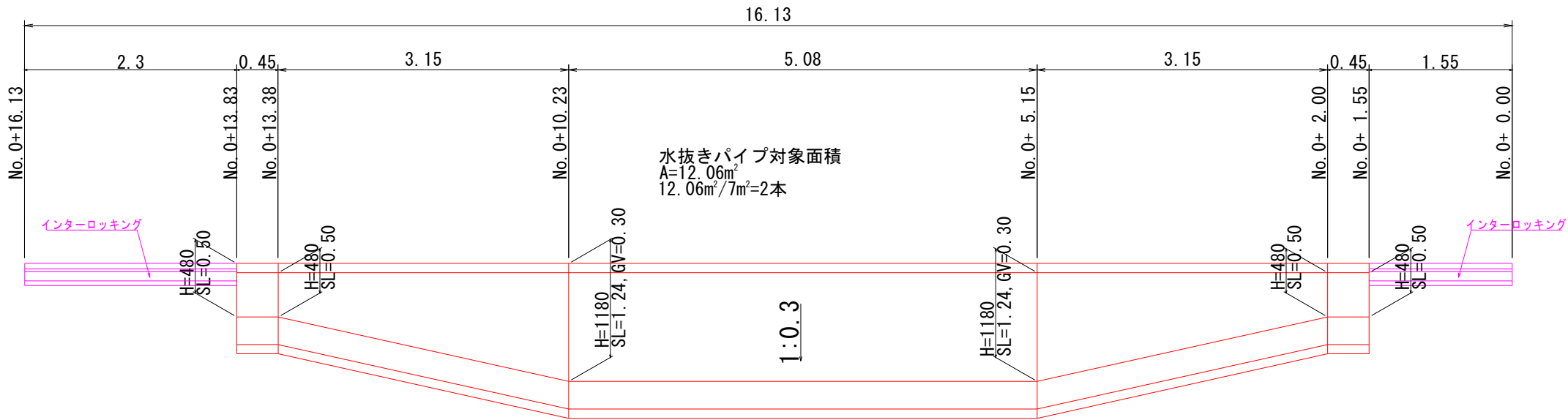
測 点	距 離	インターロッキング 剥ぎ取り			ブロック積取壊						看板撤去			
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
		23.60		23.6									2	
No.0+ 0.00					0.2									
No.0+ 2.00	2.0				0.2	0.20	0.4							
No.0+ 5.15	3.2				1.1	0.65	2.1							
No.0+10.23	5.1				1.1	1.10	5.6							
No.0+13.38	3.2				0.2	0.65	2.1							
No.0+16.13	2.8				0.2	0.20	0.6							
		内再利用撤去		8.8										
		取壊し撤去		14.8										
合 計				m2 47.2			m2 10.8						箇所 2	

図面番号	参考①/3	縮 尺	図 示
工事名	三原城跡天主台濠階段設置工事		
種 別	構 造 図	番 号	1/3
路 線 名	三原城跡天主台濠階段		
工事箇所	三原市館町一丁目		
三 原 市			



C: 掘削
W: 舗装長さ
K: 基面整正
E: 床掘
Fu: 埋戻

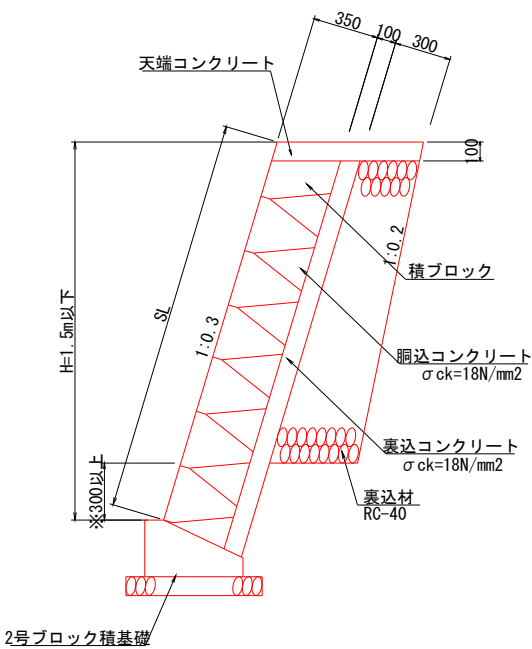
ブロック積擁壁 展開図



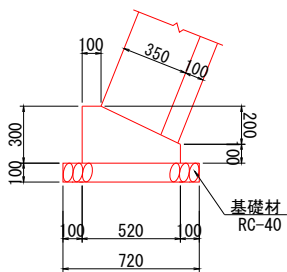
図面番号	参考②/3	縮 尺	図 示
工事名	三原城跡天主台濠階段設置工事		
種 別	構 造 図		番 号 2/3
路 線 名	三原城跡天主台濠階段		
工事箇所	三原市館町一丁目		
三 原 市			

構 造 図

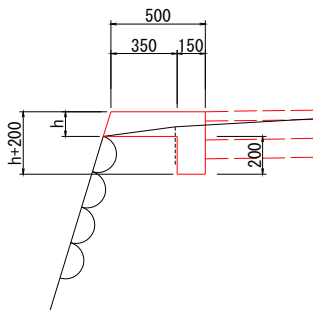
ブロック積擁壁:20



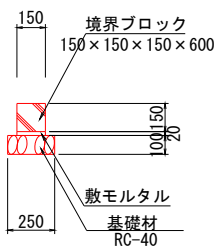
ブロック積基礎:20



嵩上げコンクリート:20

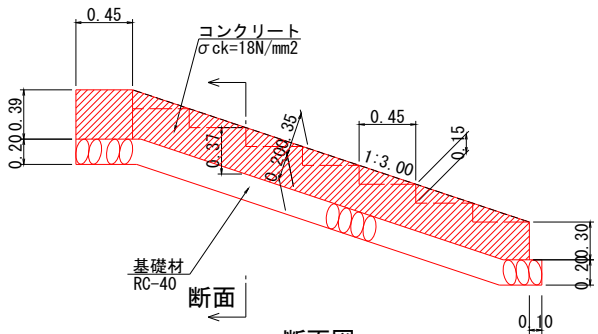


境界ブロック S=1:20

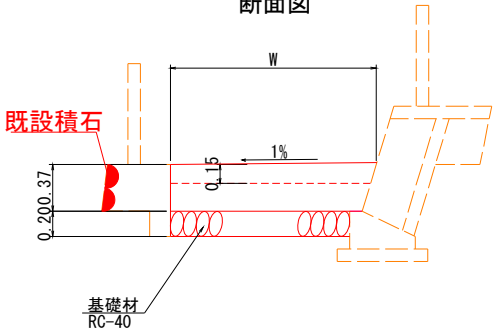


階段工 S=1:30

側面図



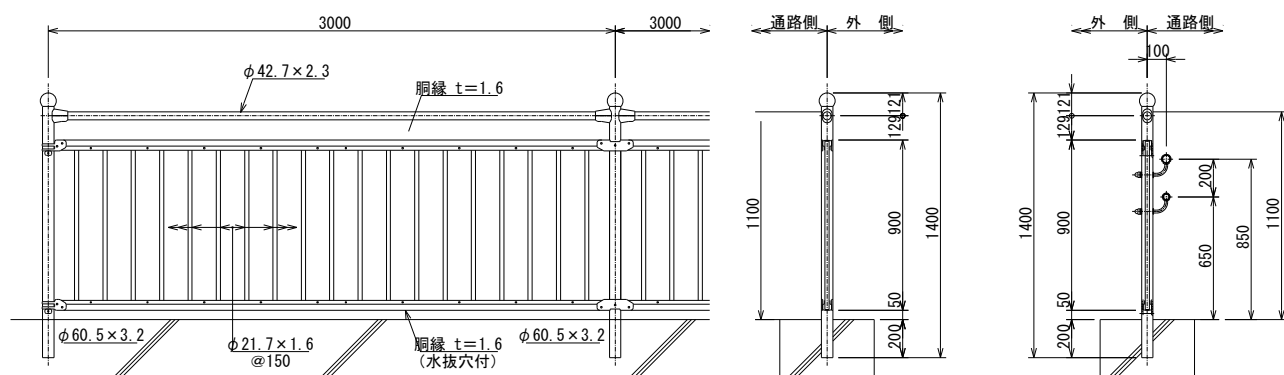
断面図



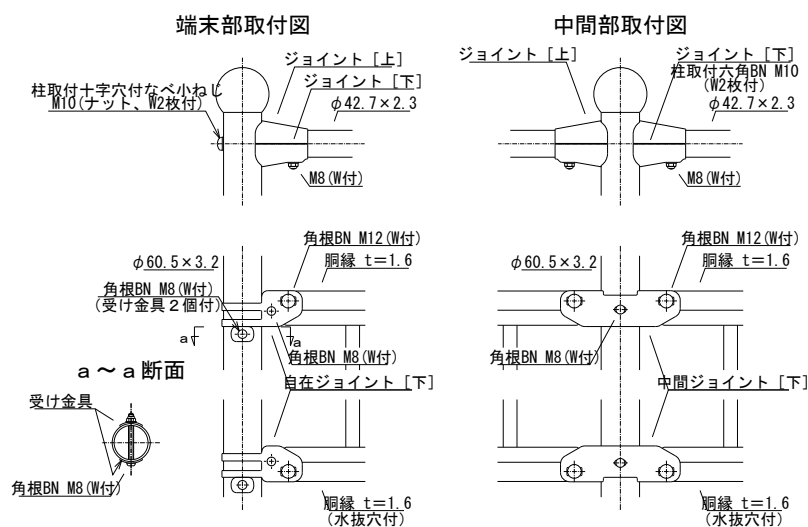
図面番号	参考③ 3	縮 尺	図 示
工事名	三原城跡天主台濠階段設置工事		
種 別	安全施設予定図	番 号	3 3
路線名 路 河	三原城跡天主台濠階段		
工事箇所	三原市館町一丁目		
三 原 市			

階段部フェンス詳細図

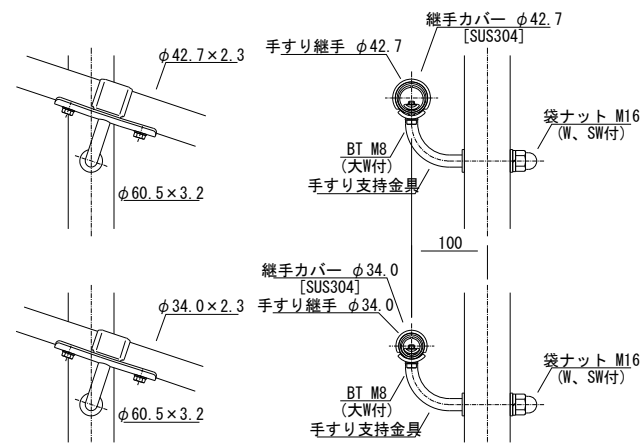
フェンス正面図 20



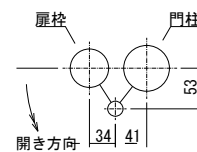
トップビーム及び格子取付⁶図



手すり取付図 1:5



門柱・扉枠位置関係図



設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種の荷重に依る。

備考

1. 樹脂は、天然樹脂と合成樹脂とに分けられる。天然樹脂は、樹皮から分泌される樹脂を乾燥させたものである。合成樹脂は、石油や天然ガスから合成される樹脂である。

2. 合成樹脂の種類は、熱硬化性樹脂と熱可塑性樹脂とに分けられる。熱硬化性樹脂は、一度硬化すると再び溶融しない樹脂である。熱可塑性樹脂は、一度硬化すると再び溶融する樹脂である。

3. 合成樹脂の用途は、建築材料、自動車部品、包装材、電気絶縁材、農業資材などである。

4. 合成樹脂の製造工程は、原料の精製、重合、成形、硬化の順である。

5. 合成樹脂の劣化要因は、光、熱、酸素、水などである。

△ 注意
ステンレス製部品でも使用条件や環境によっては錆が発生する。
ステンレスらしい外観を保つために汚れや錆の手入れが必要で
ある。

⑤ 変位計測計画

変位計測計画

1. 計測場所、計測対象物

図1に示す対象物の変位計測を行います。

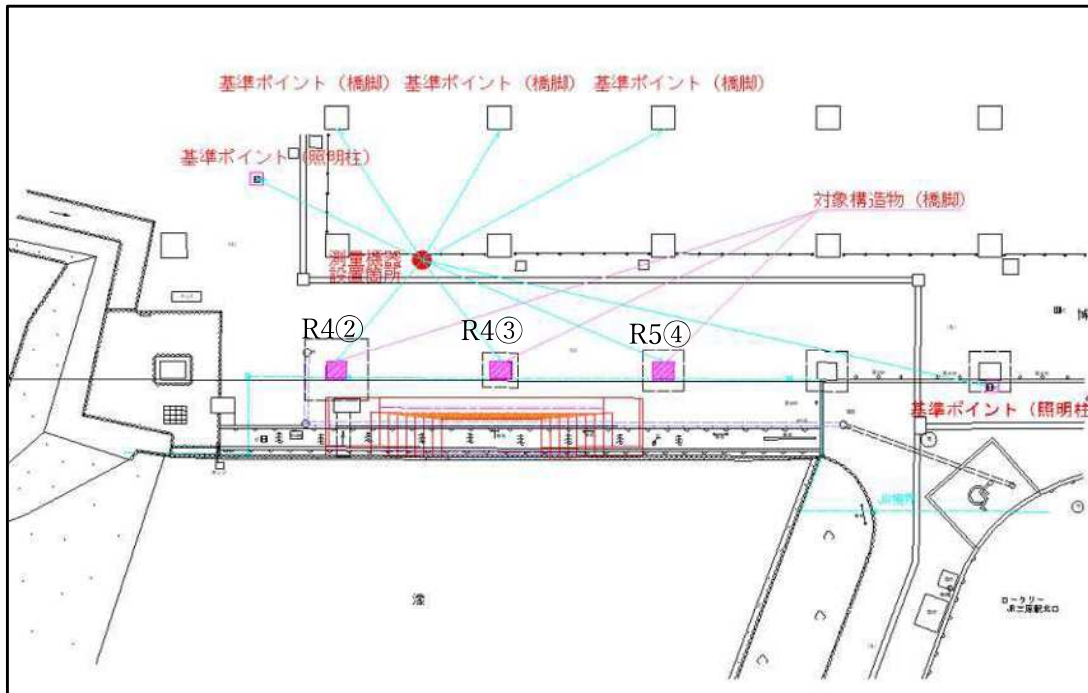


図1 変位計測の場所及び対象構造物

写真1,2に対象物と計測器のセット位置を示します。



写真1 水平・垂直変位計測
の対象物(橋脚)

写真2 測量機器設置位置

1-1 計測手法、計測機器設置要領

トータルステーションを使用して計測します（写真3）。計測ポイントは、写真4に示す橋脚の側面とします。

計測の基準ポイントは、計測ポイントを計測するための基準点とします。基準点ポイントは、不動とみなされる三原駅北口の照明柱及び橋脚の側面とします。



写真3 計測機器（トータルステーション）
MONMOS NET05AX II 相当品

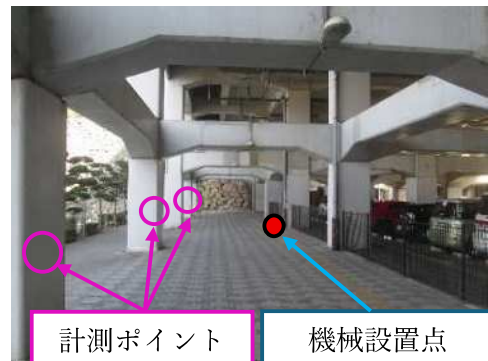


写真4 計測ポイント

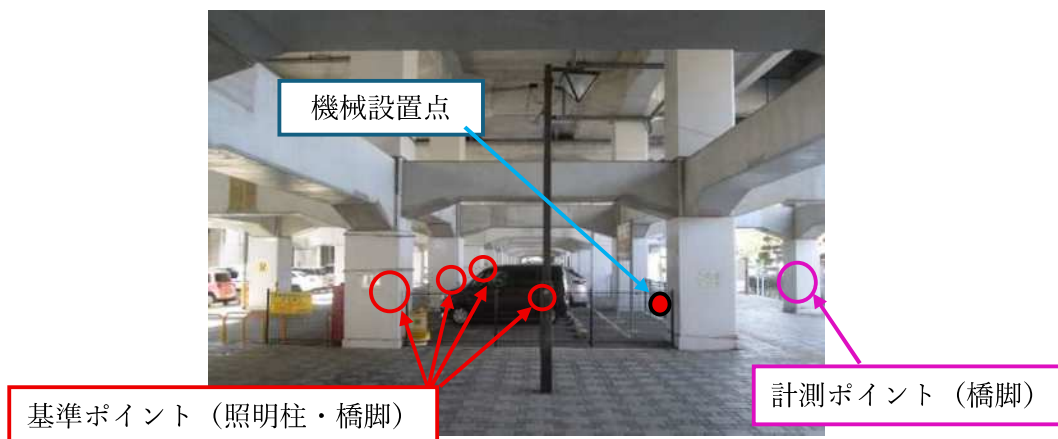
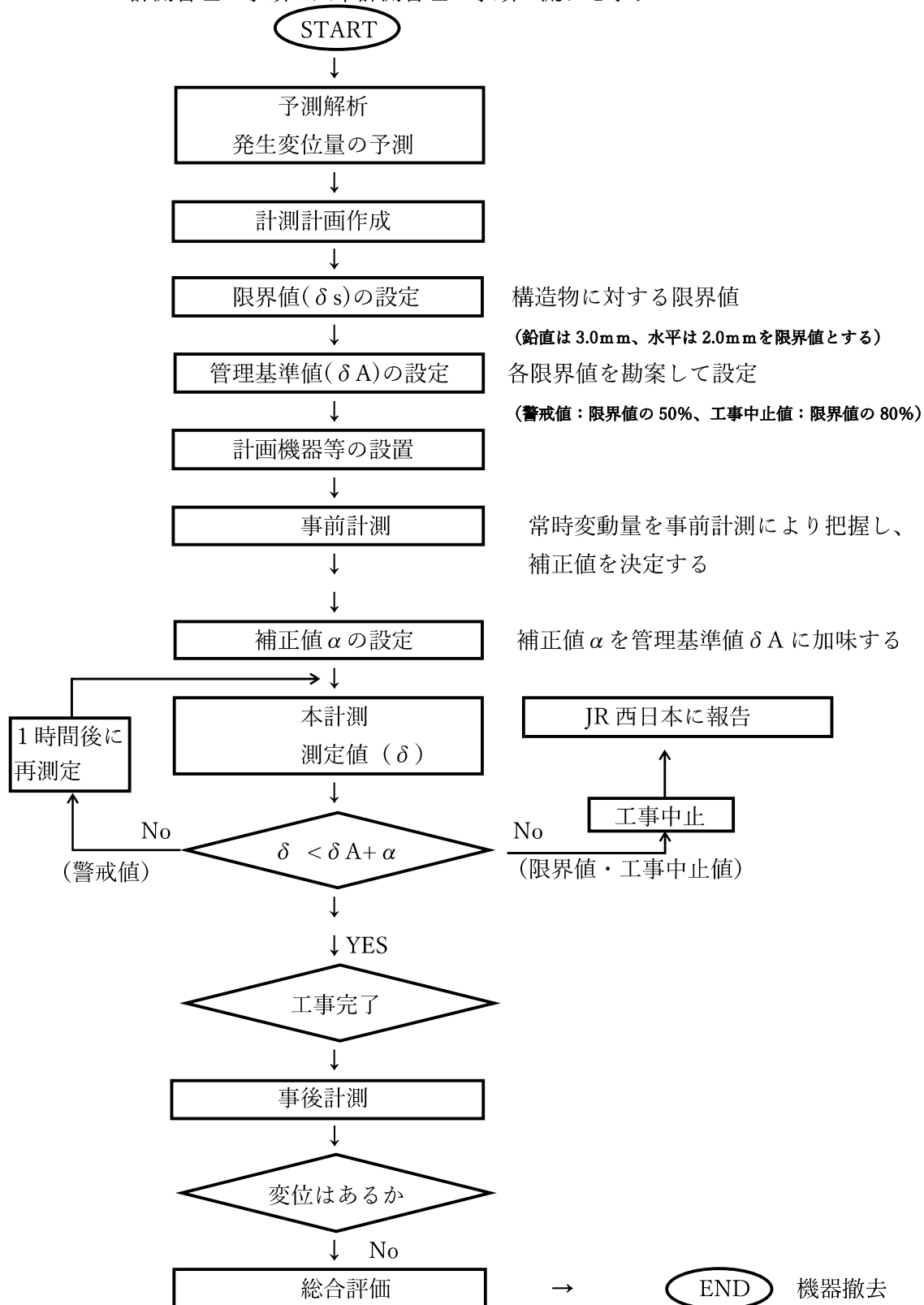


写真5 変位計測基準点（照明柱、橋脚）

1-2 計測管理の手順 ※本計測管理の手順の流れを示す



2. 計測期間、頻度

計測期間：近接施工の評価で「要注意範囲」と判定された範囲の護岸ブロック及び階段工工事期間

具体的には「護岸ブロック及び階段工事施工前の事前計測」、「護岸ブロック及び階段工事施工期間中の本計測」、「護岸ブロック及び階段工事施工後の事後計測」の3段階に分割して実施します。

(1) 事前計測と初期値設定

事前計測は、通常環境時における既設構造物の挙動を把握するために行うもので、護岸ブロック及び階段工事施工前までの2週間の間、8時30分から17時00分までの間に2時間に1回実施し、このデータを基には本計測時の構造物の挙動を判断するための資料とします。

鉛直・水平変位の管理基準値は、計測機器設置完了後、事前計測時の平均誤差を補正值 $\pm \alpha$ として管理基準値に加味する。

(2) 本計測

本計測は、護岸ブロック及び階段工事施工期間中の構造物変位を把握し、影響度合いを評価するものです。計測期間は本計測開始時に再初期値ゼロを設定し、要注意範囲工事完了までの期間とします。

計測間隔は、工事施工実施日において、施工時間の8時30分から17時00分の間で2時間に1回実施する。

(3) 事後計測

事後計測は、護岸ブロック及び階段工事完了後、1週間の間、8時30分から17時00分までの間に2時間に1回実施し、工事の影響による構造物の変動の有無を確認するために行うもので、変動がなければ計測を終了します。

計測期間及び計測頻度

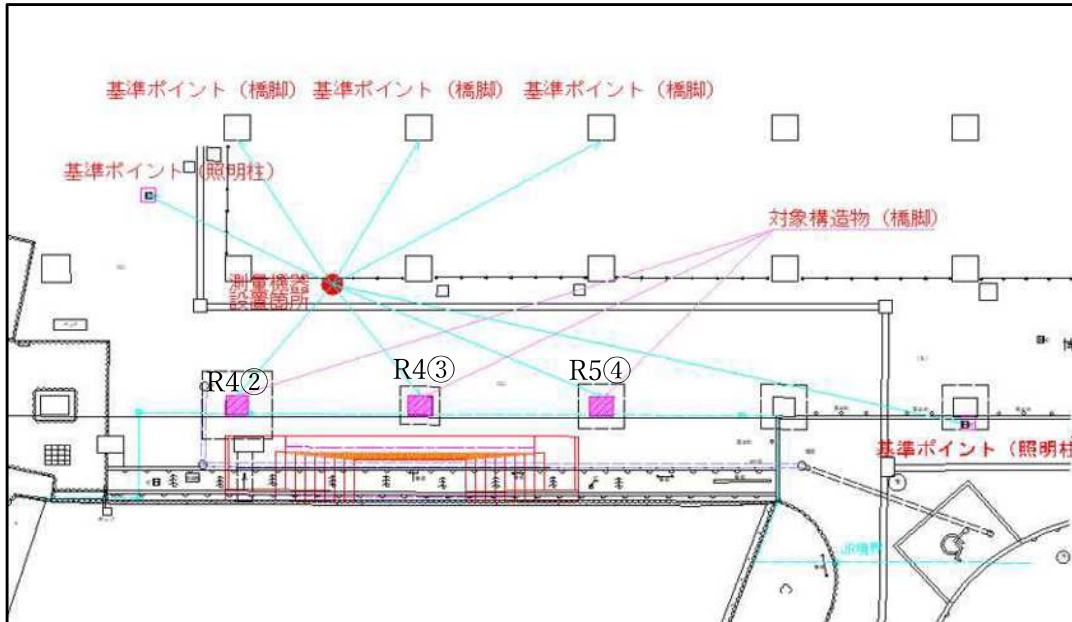
計測種別	計測期間及び計測作業時間	計測間隔	備考
事前計測	計器設置から「護岸ブロック及び階段工事」 施工前の 2 週間 8 時 30 分から 17 時 00 分の間	2 時間に 1 回	
本計測	開削工事の「護岸ブロック及び階段工事」工 事の施工期間中 8 時 30 分から 17 時 00 分の間	2 時間に 1 回	
事後計測	「護岸ブロック及び階段工事」（構造物築造） 施工完了後の 1 週間 8 時 30 分から 17 時 00 分の間	2 時間に 1 回	

作業スケジュール

計測作業スケジュール	2 時間に 1 回	備考
8 : 30	1 回目計測	
工事開始		
10 : 30	2 回目計測	
12 : 30	3 回目計測	
14 : 30	4 回目計測	
16 : 30	5 回目計測	
作業終了		
17 : 00	6 回目計測	

3. 計測管理値

『都市部鉄道構造物の近接施工対策マニュアル(財)鉄道総合技術研究所 H19.1』を参考に限界値に対して、警戒値を 50%、工事中止値を 80%として設定した。



管理基準値 ($\delta A + \alpha$)

柱 R4② 測量機器設置箇所からの距離 $L=7.0\text{m}$

警戒値：鉛直 $1.5 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $1.0 \pm \alpha \text{ mm}$ (限界値の 50%)

工事中止値：鉛直 $2.4 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $1.6 \pm \alpha \text{ mm}$ (限界値の 80%)

限界値：鉛直 $3.0 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $2.0 \pm \alpha \text{ mm}$

※ $\pm \alpha \text{ mm}$ ：補正值（事前計測で判明した常時変動量）

柱 R4③ 測量機器設置箇所からの距離 $L=6.4\text{m}$

警戒値：鉛直 $1.5 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $1.0 \pm \alpha \text{ mm}$ (限界値の 50%)

工事中止値：鉛直 $2.4 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $1.6 \pm \alpha \text{ mm}$ (限界値の 80%)

限界値：鉛直 $3.0 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $2.0 \pm \alpha \text{ mm}$

※ $\pm \alpha \text{ mm}$ ：補正值（事前計測で判明した常時変動量）

柱 R5④ 測量機器設置箇所からの距離 $L=13.1\text{m}$

警戒値：鉛直 $1.5 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $1.0 \pm \alpha \text{ mm}$ (限界値の 50%)

工事中止値：鉛直 $2.4 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $1.6 \pm \alpha \text{ mm}$ (限界値の 80%)

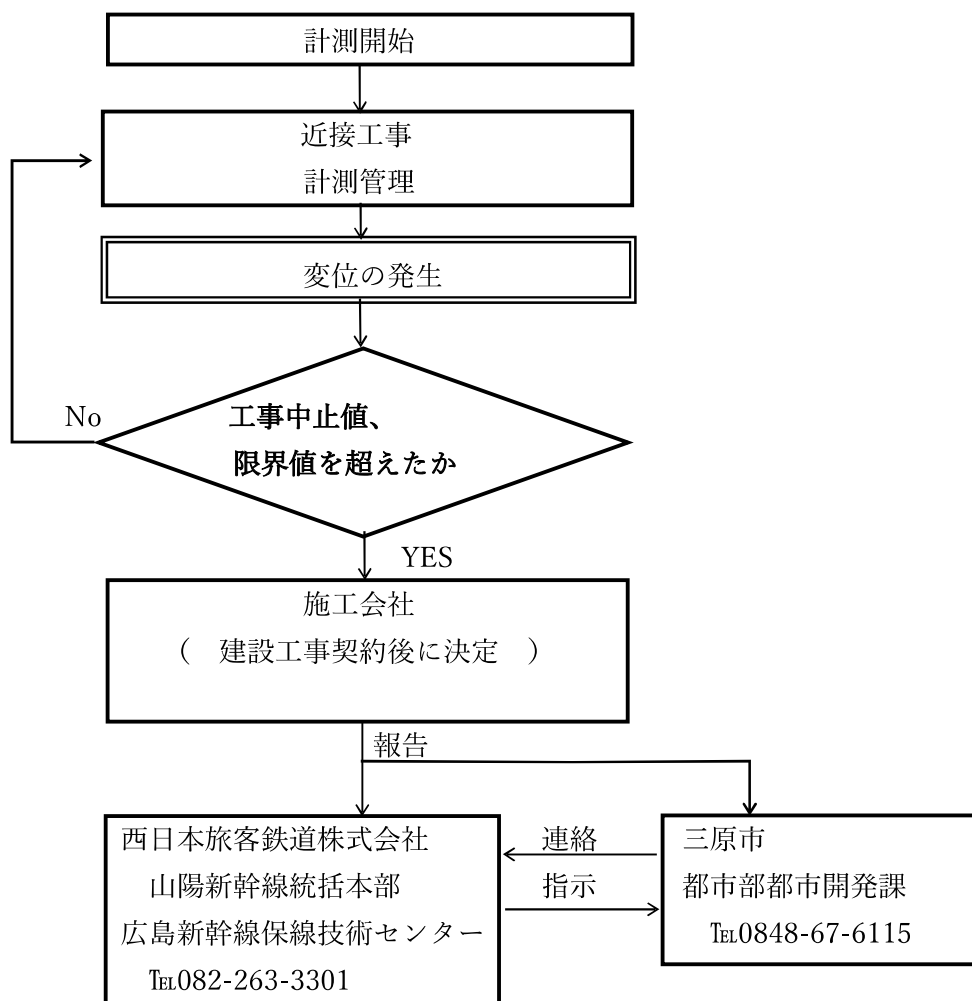
限界値：鉛直 $3.0 \pm \alpha \text{ mm}$ 水平 $2.0 \pm \alpha \text{ mm}$

※ $\pm \alpha \text{ mm}$ ：補正值（事前計測で判明した常時変動量）

4. 連絡体制

各管理値の超過時における基本的な連絡系統図を示す。

連絡系統図



位置図

